

## 平成25年度 上半期収支状況

一般会計、特別会計等の平成25年度上半期（4月～9月）分の収支状況は次のとおりとなっています。

平成25年9月30日現在

区分	当初予算額	補正額	予算現額	収入済額	支出済額
一般会計	664億7,000万円	81億4,459万9千円	746億1,459万9千円	225億2,068万1千円	108億7,206万4千円
国民健康保険特別会計	27億3,600万円	1億4,656万8千円	28億8,256万8千円	12億6,592万4千円	10億8,377万7千円
後期高齢者医療特別会計	1億4,050万円	673万5千円	1億4,723万5千円	4,454万1千円	2,322万6千円
介護保険特別会計	14億5,700万円	4,920万9千円	15億620万9千円	7億3,553万7千円	6億2,525万円
居宅介護支援事業特別会計	1,720万円	17万8千円	1,737万8千円	1,273万8千円	832万5千円
市場事業特別会計	2,170万円	0円	2,170万円	1,229万7千円	962万8千円
漁業集落排水事業特別会計	1,400万円	409万5千円	1,809万5千円	1,047万3千円	544万5千円
公共下水道事業特別会計	2億3,750万円	841万9千円	2億4,591万9千円	1億2,217万4千円	9,989万8千円

平成25年度一般会計当初予算は昨年よりも増し、過去に例のない規模の664億7,000万円となりました。東日本大震災復興関連事業の追加により、9月末までの予算現額は746億1,459万9千円と、予算規模はさらに大きくなっています。主なものとして、防災集団移転促進事業や災害公営住宅整備事業等の復興関連予算事業、災害廃棄物処理等の災害救助事業となっています。その他にも、災害対策長期派遣事業や道路や漁港施設、学校の各種公共施設の災害復旧事業、雇用創出関連事業が行われており、財源としては、国、県の補助金や負担金、地方交付税、町債、基金などを充てています。

公共下水道事業特別会計では、前年度と比較して当初予算が約8,000万円増額しています。これは特定環境保全公共下水道施設の災害復旧事業約6,200万円を行うことによるものです。

企業会計区分		予算現額		収支済額	
水道事業会計	収益的	収入	4億2,295万2千円	2億1,470万9千円	
		支出	4億762万円	8,199万4千円	
	資本的	収入	2億200万円	0円	
		支出	3億3,270万円	1億930万2千円	
病院事業会計	収益的	収入	9億6,737万3千円	4億8,702万6千円	
		支出	13億2,127万2千円	6億3,682万2千円	
	資本的	収入	1億3,720万2千円	4,146万2千円	
		支出	1億3,720万2千円	3,980万円	
訪問看護ステーション事業会計	収益的	収入	5,727万3千円	2,355万5千円	
		支出	5,727万3千円	2,692万8千円	

### 【水道事業】

震災により減少していた料金収入も80%まで回復してきました。また、新規加入者数が増え、加入者負担金収入も上半期において年間予算を超えています。

町独自支援として、前年度に引き続き、被災し、復興に取り組む方々を支援するため、水道給水装置設置費補助金制度を行っています。

予算に関して、収入においては、高料金対策繰入金として一般会計から5,750万2千円、支出においては、前年度給水装置設置費補助金確定による返還金4,624万円をそれぞれ追加補正を行っています。

### 【病院事業・訪問看護ステーション事業】

上半期は、前年度に引き続き外来機能を町内に、入院機能を町外に開設しているものの、限られた病床数のため収入が頭打ちとなり、加えて、2つの施設を維持するための経費が掛かり、厳しい経営状況となっています。地域に必要な医療の確保を図りながら、収益の増に向け今後更なる経営努力を行います。

また、訪問看護事業は、年度当初に比べ利用者が増え、収益も前年度に比べ増加傾向にあります。今後も事業回復に向け利用者確保に努めます。

## 平成24年度 特別会計・企業会計決算

特別会計区分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引残額
国民健康保険特別会計	33億3,417万4千円	30億3,748万3千円	2億9,669万1千円
後期高齢者医療特別会計	1億1,230万円	1億556万4千円	673万6千円
介護保険特別会計	15億5,067万6千円	15億171万3千円	4,896万3千円
居宅介護支援事業特別会計	1,715万4千円	1,642万7千円	72万7千円
市場事業特別会計	2,559万円	2,233万6千円	325万4千円
漁業集落排水事業特別会計	5,653万2千円	5,561万8千円	91万4千円
公共下水道事業特別会計	1億5,204万9千円	1億4,786万4千円	418万5千円

企業会計区分		予算額	決算額
水道事業会計	収益的	収入	3億6,210万9千円
		支出	3億6,718万2千円
	資本的	収入	6,562万円
		支出	2億9,593万9千円
病院事業会計	収益的	収入	9億2,806万5千円
		支出	13億1,747万6千円
	資本的	収入	9,801万円
		支出	9,801万円
訪問看護ステーション事業会計	収益的	収入	5,610万3千円
		支出	5,610万3千円

## 借入金（町債・企業債）の状況

町では、公共施設を整備するために借入金などで資金を調達しています。



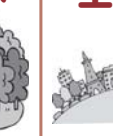




一般会計では、前年度に引き続き、災害援護資金貸付事業7,660万円の借入れを行いました。前年度と比べ借入総額は2億8,330万円（42.2%）減額しています。借入総額3億8,660万円のうち、地方交付税の不足分を補うための臨時財政対策債の借入額は3億1,000万円で、実に80.1%を占めています。

他会計において、病院事業会計は東日本大震災の影響もあり、利用者の減少や2カ所の施設運営による維持費等により資金不足の発生が見込まれたことから、地方公営企業が発行する資金手当のための公営企業債の借入れを行いました。

一般会計においては、平成20年度から借入額が償還額を下回っており、地方債現在高も平成19年度をピークに下がりに続いています。公営企業会計においても、病院事業会計が震災減収対策企業債2億5,000万円を発行しているものの、平成24年度末現在高の合計額が151億8,230万7千円となり、前年度末から7億3,181万1千円減少しています。

区分	平成23年度末現在高	平成24年度借入額	平成24年度償還額	平成24年度末現在高
一般会計	104億8,745万2千円	3億8,660万円	10億5,783万4千円	98億1,621万8千円
市場事業特別会計	1億2,793万4千円	0円	1,347万3千円	1億1,446万1千円
漁業集落排水事業特別会計	1億3,311万1千円	0円	677万6千円	1億2,633万5千円
公共下水道事業特別会計	20億3,582万1千円	0円	8,890万2千円	19億4,691万9千円
水道事業会計	27億405万9千円	0円	1億2,710万9千円	25億7,695万円
病院事業会計	4億1,272万4千円	2億5,000万円	7,477万3千円	5億8,795万1千円
合計	159億110万1千円	6億3,660万円	13億6,841万1千円	151億6,929万円

## 町が所有する主な財産

基金	山林	土地	建物	車両	出資による権利	有価証券
						
72,140,217,793円	26,049,906㎡	3,609,486㎡	73,943㎡	166台	114,593,000円	14,361,934円